



京丹後市障害者相談支援事業所 結
京丹後市峰山町杉谷 770 番地

0772-69-1040

発行責任者 管理者 小谷 美紀

第3号 2018. 1. 1

～長年に渡り福祉に携わり、京都府北部の
福祉事業を創ってこられた方々をご紹介します～



福祉と私

家原 敏彰 さん

精神保健福祉士 社会福祉士



福祉というと、社会資源をどう利用するかが大切なのですが、この仕事に就いた頃、ある支援者から「この地方には、社会資源がない。」と聞いたことがありました。それは、確かにそうで、今でも事実だと思うのですが、支援者側がこの言葉を使うと「社会資源がないから何もできない。」というような、いいわけに聞こえました。

その後、受講した研修会で、「まず、自分が社会資源になれるか」と聴きました。社会資源を利用するには、まず、どこに社会資源があるか、表に出していない社会資源があるかもしれない。また、依頼しても、「じゃああなたは何をしてくれるの」と問われます。支援を一方的に依頼するのではなく、その課題と一緒に取り組めるか。そのためにも自分が社会資源として信頼してもらえるかが、重要と学びました。

自分が社会資源であるためには、この地域で、何が足りていなくて、私に何ができるのかからスタートしなければなりません、そんな簡単には見つかりません。

以前、一緒に仕事をしていた仲間達と「頼まれたら断らない」「フットワークを軽く」と、合い言葉のようによく言っていました。私や私の所属機関を地域のみなさんに知ってもらうこと、地域にどんな社会資源があるかを知ることは、表裏一体のものであり、来るのを待っているのではなく、地域の関係機関や団体にどんどん顔を出し、その中で、ちょっとしたきっかけで、何かを頼まれたら断らず、さらに関係を作っていく、次にはこちらから依頼する。この関係の中で、地域の課題が見えてくるし、私の課題や役割も見えてきたと思います。

この「頼む頼まれる」「持ちつ持たれつ」の相互関係が多くの機関や人に拡大して、それがシステムになっていくことが、福祉の大きな要素ではないかと考えています。





11月12日(日)に京丹後市役所前で、車いす駅伝大会が開催されました。

今回は衆議院選の影響で1か月遅れの開催となりましたが、当日は天候に恵まれ、企業、行政、福祉事業所など27チームが参加し大会を盛り上げました。

主催された第9回京丹後市車いす駅伝実行委員会 委員長の山崎さんにお話をうかがいました。平成21年に始まった車いす駅伝は、車いすに乗って京丹後市の公道を走ることにより、道の凸凹や傾斜などを身体で感じ、楽しみながら福祉の街づくりをみんなで考えていこう。障害のあるひともない人も一緒に参加できるものにしよう、と始められました。初回大会の15チームから、9年を経て、今年は27チームと倍近くになりました。企業、行政、福祉、学校などが競技への参加やボランティア活動などを通して自然に触れ合い、福祉の町づくりを考える場となっています。とのこと。



このような素晴らしい大会も、実は今年度から始まる橋の架け替え工事のため今回が FINAL RUN となってしまいました。今後について山崎さんにうかがうと、今後は障害者スポーツを京丹後市に普及させるために、よりパワーアップした企画を考えておられるとのことでした。とっても楽しみですね!!



この記事を読んでいただいた皆様も、時々町を歩いてみて、交差点信号切り替えの押しボタンの位置や、道の傾斜、歩道入口の段差など、もし車いすだったら…と考えてみていただくと嬉しいです。車いす駅伝大会は今年で終わってしまいますが、誰もが住みやすい街づくりはこれからもずっと続いていきます。一人一人の気づきが京丹後市をよりよい街にしてい

京丹後警察のパフォーマンス くのだろうと感じた一日でした。



新しい事業所の紹介です！



あーと・ねっと
しーど

「あーと・ねっと」は「ありがとう」のネットワークを広げるというコンセプトの元、運営しています。発達障害のあるお子様への支援を主に実践していますが、障害の有無に関わらず、生活の中での困り感や子育ての悩みを持つ方に対する作業療法を実践しています。「しーど」とは“種”を意味します。ありがとうの種が芽吹き、みんなと共に成長することを願って、この地域に根付いていきたいと考えています。『あーと・ねっと しーど』では、こどもたちの日常生活をより良いものにするために、専門職による療育を提供します。個別療育や集団療育を通して、個々の障害特性に応じた、継続した支援を行っていきます。また、保護者相談を通して、ご家庭での困りごとにも寄り添っていきたいと考えています。



事業内容



○放課後等デイサービス（対象は6歳から18歳の就学児）

発達に関する困り感のあるお子さまを対象にしています。生活能力向上のため、友達や社会とのコミュニケーションを取りやすくするための活動を継続的に提供します。

対象：6歳から18歳の就学児

形態：個別療育、集団療育

開所時間：（火）～（金）13:00～18:00

（土）9:00～18:00

《お申込み・お問い合わせ先》

TEL&FAX：0772-46-2525

E-Mail：a-to.net_seed@circus.ocn.ne.jp



○セッション・相談事業（現在0歳～20歳代の15名ほどが利用）

作業療法士による個別セッションおよび、保護者相談を実施しています。

例えば*友達とトラブルになりやすい*手先や運動が不器用*言葉の発達がゆっくり*漢字が覚えられない*理解力、学力が心配、などなど、

ご家庭ならびに集団生活での困りごとをお気軽にご相談ください。

1回40分5,000円（初回費用別途3,000円）

《お申込み・お問い合わせ先》

Mail：ot13433@k5.dion.ne.jp

TEL：070-5432-9503

※完全予約制です。まずはメールでお問い合わせ下さい。



これっ!ええやん!
おっちゃ便利やん!



昨年10月の衆議院選挙へは行かれたでしょうか?視覚障害のある方も選挙のことがよくわかるようにと、音声で紹介しているCDがあるのをご存知ですか?



頭出しや録音も簡単にできる機械もあります!



再生機はいろいろな種類があります。これはその一例です。高価な物ですが、京丹後市では購入時の補助もありますよ～



編集後記

新年明けましておめでとーございます。本年

もどうぞよろしくお願い致します。さてみなさ

ま今年の目標はもう立てられましたか?「笑う

門には福来たる」と言う

ことわざがあります、

笑顔でいることでスト

レスが減り、免疫力も上

がるようです。一人の

笑顔が周りの人にも広

がって行くよう今年も

スタッフ一同とびきり

の笑顔でがんばりたい

と思います。本年がみな

さまにとって幸多き年

であります

よう願

います。

招福

